

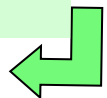
## 第108回 教授システム学専攻 「公開科目」のご紹介

- 専攻Webサイトで3科目公開中(もう少し増える予定)
  - <http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/opencourses/>
- 2つは日英2ヶ国語で(英語の勉強になる、[JICA多謝](#))
- [特別研究I](#): 研究指導面の教員紹介+広報目的
- [基盤的教育論](#): 入学予定者の基礎科目先行学習用
- [eラーニング概論](#): 旧科目の公開アーカイブ化
- 今後の予定: 基盤的情報処理論、D総論も?
- [どこまで公開するかという問題](#)
- 本件についての[発表予定](#)(11月中に2回、東京で)

## JICAプロジェクトのおかげ様をもちまして 15科目を英語化

- 2008－2011 JICA沖縄と本専攻とのジョイントプログラム
- 留学生を毎年6名まで受け入れて修士号を授与
  - 実績ベースでは、4+2+2の合計8名
- 1. 5年(科目等履修生半年+短期履修制度で1年在学)
- JICA沖縄センターに滞在して集中的に学習
- 修士論文のデータ集めに一時帰国
  
- 最低限必要な科目を全て英語化した(JICAが資金提供)
  - でも実際は点検作業が大変でした……
- 著作権は本専攻にある。JICAとのプロジェクトは続行しない。
  
- じゃあ公開しましょう、もったいないから

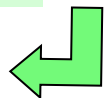
©2011 鈴木克明



# 特別研究I(2007年度版)

## 研究指導面の教員紹介＋広報目的

- 1年後学期の修士論文に向けた最初の研究科目
  - ゴール:自分が取り組む研究についてのアイデアを「研究者らしく」まとめ、指導を希望する教員に「おもしろい。これは私が引き受けましょう」と言ってもらうこと
- 1ブロック:教授システム学研究法
  - テキスト:向後・清水・余田・鈴木(訳・解説)(2002)『教育工学を始めよう』北大路書房
- 2ブロック:分野別の研究事例
  - タスク:あなたならどう発展させるか、など全12回
- 3ブロック:研究計画書の作成
  - 採点希望教員を3名指名する→担当教員決定時に配慮
- 問題点:教員の転出・転入に未対応

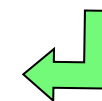


# 基盤的教育論(2007年度版)

## 入学予定者の基礎科目先行学習用

- 教職教養科目のおさらい科目: 教員免許所有者免除
  - 概要: 教育学の視点からeラーニング実践を点検するための基礎を培う。教員免許課程における教育原理・教育方法論・教育心理学のエッセンスと教授設計理論の基礎について短期間でカバーできる。教育学の基礎知識が不足している入学生のための補講的基礎科目。
- 自由科目化を契機に公開
  - 注記: この科目は、2008年度からはカリキュラム改訂により「自由科目」となりましたので、修了要件の単位としてはカウントされません。ただし、上記の「後続科目」を受講するための要件になりますので、履修免除者以外は、1年後期開始前には完了しておく必要があります。ご注意ください。

©2011 藤本京明: 問題点 公開するには主張が過激かもしれない



# eラーニング概論(2009年度版)

## 旧科目の公開アーカイブ化

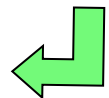
- 大幅リニューアルを契機に公開
  - eラーニング概論は、2010年度からeラーニングプロフェッショナル資格(ベーシック)対応のため大幅にリニューアルされました。この公開版は、それ以前の内容(旧バージョン)をそのまま公開するものです。
- あの歴史に残る「激しく楽しかった」集中講義を残さずにおくものか！
  - 2003.9. SCSによる全国中継集中講義(無料)
  - 2004 日本イーラーニングコンソシアムからテキスト出版
  - 2005～ eLCの講座(詳説ID)として今も現役で活躍
  - 2006-2009本専攻の入門科目としての使命を果たして引退
- 問題点： ※日本語版のみ先行公開中 英語版はほぼできているが…



# どこまで公開するかという問題

## インターネット型大学院の特異性？

- 広報目的であれば
  - 特別研究I(公開中)
  - 博士後期課程の「教授システム学研究総論」(日本語版のみ)？
- 基礎科目の先行学習用であれば
  - 基盤的教育論(公開中)
  - 基盤的情報処理論(公開準備中) これで完成！
- 旧科目の公開アーカイブ化であれば
  - 旧版eラーニング概論(公開中:英語版も?)
  - 大幅バージョンアップする科目の旧版(もしあれば随時?)
  - 休眠科目(「今年度開講せず」が続いている科目)？
- このぐらいでしょうか？ SNSはどうする？
- 全部公開すると、出願者が減って広報にマイナス？
  - cf. MITは授業資料・映像は公開するけれど単位は出ない



## 本件についての発表予定

- 鈴木 克明ほか「オンライン大学院における公開科目提供事例」 第18回日本教育メディア学会年次大会、2011.11.5-6、国際基督教大学
  - <http://subsite.icu.ac.jp/org/jaems/>
- Suzuki, K., et al. Example Open Courses of Graduate School of Instructional Systems at Kumamoto University アジア地域OCW会議(AROOC2011:2011 Asia Regional OpenCourse Ware and Open Education Conference) 2011.11.7-8、明治大学
  - <http://www.jocw.jp/AROOC2011/>
  - 注:ここでは喜多先生が本ランチョンセミナーについて発表されます。

